

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		広域事務組合管理事務		グループ・担当名	広域事務組合 消防本部グループ	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	02 総務費
	施策(大)	02 持続可能な行財政システムの確立			項	01 総務管理費
	施策(中)	01 行政組織の活性化			目	01 一般管理費
	施策(小)	02 職員的能力向上と能力、実績を重視した人事管理の推進			大事業	02 一般管理経費
事業期間	終期未定		平成28年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	美幌・津別広域事務組合一般管理業務に要する経費					
事業目的	適正に一般管理業務事務を執行する					
事業の対象	一般管理業務					
実施結果	【実施結果】 津別町と共同処理する火葬場、消防事務に係る庶務業務状況の管理を実施					
現状と課題	【現状と課題】 適正に執行するために、今後も庶務業務状況の管理を行う。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	172	174	226	167	200	200
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	172	174	226	167	200	200
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	172	174	226	167	200	200

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	不適正な処理	目標	件			0	0	0
		実績	件	0	0	0		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	組合に係る共同処理する火葬場、消防事務に係る庶務事務状況の管理は必要なものである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	組合に係る火葬場、消防事務に係る不適切な庶務事務の絶無を図るには適切である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	適切に一般管理業務事務を執行するには適切である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 適正に一般管理業務事務を執行する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 事業内容の検証を踏まえて、適切な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		広域事務組合監査事務		グループ・担当名	広域事務組合 消防本部グループ	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	02 総務費
	施策(大)	02 持続可能な行財政システムの確立			項	02 監査委員費
	施策(中)	05 健全な財政運営の推進			目	01 監査委員費
	施策(小)	02 財政基盤の強化と効率的な財政運営			大事業	01 監査委員費
事業期間	終期未定		平成28年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	美幌・津別広域事務組合監査業務に要する経費					
事業目的	監査業務等の円滑な執行					
事業の対象	監査委員、監査業務					
実施結果	【実施結果】 決算審査、定期監査、出納検査等の実施					
現状と課題	【現状と課題】 監査業務等を円滑に行えているので今後も継続する。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	392	432	495	409	480	480
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	392	432	495	409	480	480
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	392	432	495	409	480	480

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	決算審査、定期監査、出納検査等の実施	目標	回			14	14	14
		実績	回	14	14	14		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	効率的な監査業務を行い透明性を高めるため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	決算審査、定期監査、出納検査等の実施を適切に行っている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	監査業務等を円滑に行うため適切である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 監査業務等を適切に執行する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 事業内容の検証を踏まえて、適切な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		消防本部運営事務		グループ・担当名	広域事務組合 消防本部グループ	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	02 持続可能な行財政システムの確立			項	01 消防本部費
	施策(中)	05 健全な財政運営の推進			目	01 消防本部費
	施策(小)	02 財政基盤の強化と効率的な財政運営			大事業	02 消防本部経費
事業期間	終期未定		平成28年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	美幌・津別広域事務組合消防本部業務に要する経費					
事業目的	消防本部業務の円滑な遂行					
事業の対象	消防本部業務					
実施結果	【実施結果】 美幌・津別広域事務組合消防本部の運営に関する業務を円滑に行う					
現状と課題	【現状と課題】 円滑な運営のため、今後も適切な執行管理を行う必要がある。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	3,566	3,600	3,544	3,334	3,477	3,477
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	200	-
一般財源	3,566	3,600	3,544	3,334	3,277	3,477
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	3,566	3,600	3,544	3,334	3,477	3,477

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	適正な執行管理を行う。	目標	%			100	100	100
		実績	%		93.3	91.7	91.5	
		達成率	%			91.7	91.5	
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	適正な予算管理、執行する上で妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	美幌・津別広域事務組合消防本部の運営に関する業務を円滑に行うために適切である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	美幌・津別広域事務組合消防本部業務の円滑に遂行するため適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 今後も継続して適正な執行管理を行う。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 検証結果を踏まえて、適切な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		通信指令施設管理事務		グループ・担当名	広域事務組合 消防本部グループ	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	03 通信指令施設管理費
	施策(中)	01 常備消防体制の充実			目	01 通信指令施設管理費
	施策(小)	03 デジタル無線設備の更新等維持管理			大事業	01 通信指令施設管理経費
事業期間	終期未定		平成28年度～令和7年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	組合通信指令業務共同運用に係る業務管理経費					
事業目的	通信指令業務の適正な執行					
事業の対象	通信指令施設					
実施結果	【実施結果】 適切な通信指令業務の遂行維持に要する経費を管理する					
現状と課題	【現状と課題】 通信指令業務が遂行できるように構成機器の維持管理の継続					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	3,282	3,399	4,233	3,281	3,604	3,676
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	3,282	3,399	4,233	3,281	3,604	3,676
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	3,282	3,399	4,233	3,281	3,604	3,676

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	適正な執行管理を行う	目標	%			100	100	100
		実績	%	97.3	94.1	99.3		
		達成率	%		94.1	99.3		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	社会環境や町民のニーズを考慮して目的が妥当。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	目標は達成出来ている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	費用において成果があり無駄がなく経費において適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 通信指令業務を遂行のため業務の維持					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 通信指令業務を遂行のため予算の維持					予算反映額 (概算)	0千円
今後の改善点	安定した指令業務を維持するための事業の継続と予算の確保。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		通信指令施設保守管理事業		グループ・担当名	広域事務組合 消防本部グループ	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	03 通信指令施設管理費
	施策(中)	01 常備消防体制の充実			目	01 通信指令施設管理費
	施策(小)	03 デジタル無線設備の更新等維持管理			大事業	01 通信指令施設管理経費
事業期間	終期未定		平成28年度～令和7年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	システム化・デジタル化を図った通信指令施設は、119番通報の受付から災害終結まで一連の指令業務において高い機動力を発揮しているが、24時間休ませることなく稼働継続しなければならないことから、経年による機能劣化の進行が想定され、状況によってはシステムダウンが危惧される。施設の一括保守及び構成機器の抜本的な更新整備による維持管理を行い、安定した指令業務を遂行する。 【投資的経費】					
事業目的	維持管理による当該施設の継承					
事業の対象	通信指令施設（指令システム施設及びデジタル無線施設）					
実施結果	【実施結果】 安定した指令業務の遂行が来ている。					
現状と課題	【現状と課題】 安定した指令業務が遂行できる様に構成機器の維持管理の継続。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	9,720	24,741	10,431	11,612	10,012	18,172
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	9,720	24,741	10,431	11,612	10,012	18,172
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	9,720	24,741	10,431	11,612	10,012	18,172

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	通信指令施設・デジタル無線施設の維持管理・委託管理	目標	%			100	100	100
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町が事業を実施するのが妥当。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	成果指標の単年度目標の達成ができた。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	事務事業の過程に無駄はない。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 安定した指令業務を遂行するために事業の維持					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 安定した指令業務を遂行するために予算の維持			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	指令施設の維持のための予算の確保							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		火災予防事務		グループ・担当名	広域事務組合 消防本部グループ	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	02 火災予防広報活動の推進			目	01 美幌消防署費
	施策(小)	01 住宅用火災警報器の設置促進と維持管理の指導			大事業	03 予防業務経費
事業期間	終期未定		平成28年度～令和7年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	予防業務に係る事務処理執行並びに自主防災組織の活動・訓練に係る経費					
事業目的	火災予防運動を効果的に遂行する					
事業の対象	火災予防業務					
実施結果	【実施結果】 火災予防行事等に関する事務経費の管理					
現状と課題	【現状と課題】 火災予防運動により防火意識が浸透している。今後も効果的な啓発運動を行う。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	392	287	476	470	428	420
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	392	287	476	470	428	420
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	392	287	476	470	428	420

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	防火意識の向上と火災の未然防止	目標	人		500	500	500	500
		実績	人	553	249	417		
		達成率	%		49.8	83.4		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	外郭団体等の協力を得て実施している事業が多く、外部委託については専門的知識を要するため広域組合(消防)が主体となる事					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	ほぼ目標を達成しており有効な事業である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	火災予防について、有効な啓発活動が可能であり適切である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 防災及び火災予防について各種予防運動により啓発する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 検証結果を踏まえて、適切な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		消防庁舎改築事業		グループ・担当名	広域事務組合 消防本部グループ	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	06 消防施設の整備			目	03 美幌消防施設費
	施策(小)	01 消防庁舎耐震化の推進			大事業	02 施設整備事業費
事業期間	5年度		平成29年度～令和3年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	消防庁舎耐震診断の結果を踏まえ、基本構想・基本計画を策定し、改築工事を行い災害に備える。 【投資的経費】					
事業目的	各種災害時の消防活動拠点施設としての設備及び地域防災の中核となる消防団詰所を備えた庁舎とする。					
事業の対象	消防庁舎					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 外部専門業者による消防庁舎の基本構想・基本計画の作成 プロポーザルによる基本設計・実施設計業務委託 【現状と課題】 耐震診断結果を踏まえ、消防活動拠点となる消防庁舎の改築が必要である。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	886	42,760	1,137,011
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	0	0	886	42,760	1,137,011
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	0	886	42,760	1,137,011

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	消防庁舎改築	目標	%			100	100	100
		実績	%			100		
		達成率	%			100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	消防庁舎を改築する上で妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	高い耐震能力を備えた消防庁舎にするために適切である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	消防庁舎改築事業を進める上で適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 消防庁舎の改築					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 事業内容の検証を踏まえて、適切な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円	現状維持	
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		火葬場管理運営事業		グループ・担当名	広域事務組合 消防本部グループ		
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 衛生費
	施策(大)	07 生活環境保全・緑化活動の推進				項	01 保健衛生費
	施策(中)	08 火葬場施設整備事業				目	01 火葬場費
	施策(小)	01 火葬炉及び付帯設備の整備				大事業	01 火葬事務及び施設運営管
事業期間	終期未定		平成28年度～				
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等					経費区分	政策的経費	
事業概要	美幌・津別広域事務組合火葬事務及び施設運営管理に要する経費						
事業目的	施設利用者の利便性の向上						
事業の対象	施設利用者						
実施結果	【実施結果】 火葬業務及び点検・保守業務等の委託及び物品等の維持・整備						
現状と課題	【現状と課題】 利便性向上のため、今後も継続して整備を図る必要がある。						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	11,701	11,634	11,320	11,681	11,937	11,937
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	4,803	-
一般財源	11,701	11,634	11,320	11,681	7,134	11,937
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	11,701	11,634	11,320	11,681	11,937	11,937

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	火葬業務及び点検・保守業務等の委託	目標	回			8	8	8
		実績	回	9	8	8		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					

項目	評価の視点	評価	理由
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	火葬場の利便性や施設の点検・保守業務等により、不具合の絶無を図るため妥当である。
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	火葬業務及び点検・保守業務等の委託、物品等の維持・整備が適切に行われている。
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	施設利用者の利便性の向上を図るために適切である。

次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 火葬業務等の円滑な運営を引き続き行う。		評価結果
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 検証を踏まえて、適切な予算措置を行う。	予算反映額 (概算) 0千円	

今後の改善点	
--------	--

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		火葬場施設整備事業		グループ・担当名	広域事務組合 消防本部グループ		
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 衛生費
	施策(大)	07 生活環境保全・緑化活動の推進				項	01 保健衛生費
	施策(中)	08 火葬場施設整備事業				目	01 火葬場費
	施策(小)	01 火葬炉及び付帯設備の整備				大事業	02 火葬施設整備事業費
事業期間	終期未定		平成28年度～				
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等					経費区分	投資的経費	
事業概要	望岳苑斎場の円滑な業務運営を目的として、使用頻度が高く損傷の著しい火葬炉耐火物及び付属設備等の修繕、整備を図る。 【投資的経費】						
事業目的	施設整備及び維持管理						
事業の対象	斎場施設及び火葬炉等整備						
実施結果	【実施結果】 円滑な業務遂行のため、火葬炉設備等の修繕計画による改修・整備を実施						
現状と課題	【現状と課題】 修繕計画による改修・整備を円滑に行う。						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	4,677	3,667	5,800	6,613	6,313	12,265
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	4,677	3,667	5,800	6,613	6,313	12,265
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	4,677	3,667	5,800	6,613	6,313	12,265

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	火葬炉等の施設改善整備の計画的な実施	目標	%		100	100	100	100
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	火葬炉等の施設改修整備の計画的実施により、業務について万全を期すため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	火葬炉設備等の修繕計画による改修・整備を図るため。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	適切な修繕計画により、円滑な業務遂行が行われている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 火葬炉設備等の改修・整備を図る。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 使用頻度が高く損傷の著しい火葬炉耐火物及び付属設備等の修繕、整備を図る。			予算反映額 (概算)	0千円		改善
今後の改善点	使用頻度が高く劣化している火葬炉を計画的に修繕していく必要がある。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		美幌消防施設維持管理事業		グループ・担当名	消防署グループ庶務担当	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	06 消防施設の整備			目	03 美幌消防施設費
	施策(小)	01 消防庁舎耐震化の推進			大業	01 施設管理経費
事業期間	終期未定		平成28年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	災害拠点となる消防庁舎・施設の営繕					
事業目的	災害活動の円滑な遂行					
事業の対象	消防庁舎・施設					
実施結果	【実施結果】 災害拠点となる消防庁舎・施設の営繕					
現状と課題	【現状と課題】 老朽化防火水槽給水管布設替修繕完了、吹付けアスベスト劣化調査業務完了。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	1,106	2,971	1,261	1,617	1,395	1,395
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	1,106	2,971	1,261	1,617	1,395	1,395
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	1,106	2,971	1,261	1,617	1,395	1,395

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	庁舎営繕・施設維持改修件数	目標	%		100	100	100	100
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	広域組合（消防）が維持管理しているから					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	事業効果がみられている					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	災害拠点となる消防庁舎が維持され適正である					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 継続した修繕を行い維持・管理する					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 消防庁舎を維持・管理できる予算措置			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	火災発生時、消防水利は重要な施設であることから、継続して補修を行い災害活動に万全を期したい。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		消防団員装備品整備事業		グループ・担当名	消防署グループ 消防担当	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	03 消防団の充実			目	02 美幌消防団費
	施策(小)	02 消防団安全装備品の計画的整備			大事業	01 消防団経費
事業期間	終期未定		平成28年度～令和7年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	消防団の装備の基準（平成26年消防庁告示第2号）消防団の服制基準（平成2			経費区分	投資的経費	
事業概要	「消防団員服制基準」改正に伴い「活動服」の形式、配色が変更されたため、消防団員の安全装備品を整備し、安全確保の強化を図る。 【投資的経費】					
事業目的	災害活動時の事故防止と安全管理の徹底					
事業の対象	消防団					
実施結果	【実施結果】 被服等の貸与及び装備品等の更新整備					
現状と課題	【現状と課題】 災害現場における消防団員の安全確保のため、個人装備品を優先し計画的に装備を進めたい					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	2,971	1,591	2,186	2,186	0	1,026
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	2,971	1,591	2,186	2,186	0	1,026
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	2,971	1,591	2,186	2,186	0	1,026

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	装備品の充実	目標	%		100	100	100	100
		実績	%	99.9	100	100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	消防団の組織は、広域組合（消防）に属している					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	消防団活動を維持して行くうえで適切である					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	消防団充実・強化のため適正である					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 災害活動における団員の安全確保のため計画的な貸与					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 敵機的に更新するための予算措置					予算反映額 (概算)	0千円
今後の改善点	装備品は安全管理上、定期的に更新する必要がある。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		救急車両・資機材更新整備事業		グループ・担当名	消防署グループ 救急担当	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	04 救急体制の強化			目	03 美幌消防施設費
	施策(小)	01 救急車両・資機材の更新整備			大事業	02 施設整備事業費
事業期間	終期未定		平成28年度～令和7年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を経年等の機能低下により活動障害をきたさないよう、更新基準等に基づいて整備を図る。					
事業目的	老朽した高規格救急車及び高度救命処置用資機材の更新					
事業の対象	高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材					
実施結果	【実施結果】 緊急防災・減災事業債等の財源を活用する					
現状と課題	【現状と課題】 31年度以降、救急自動車更新向け事業は維持継続					
事業進捗度	3 取り組んでいるが順調でない	進捗度3又は4の理由	事業延期	左の具体的な内容	更新計画通りに車両・資機材の更新ができていない。	

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	151	28,247	0	0	0	0
国支出金	-	15,624	-	-	0	-
道支出金	-	0	-	-	0	-
地方債	-	11,900	-	-	0	-
その他	-	0	-	-	0	-
一般財源	151	723	0	0	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	151	28,247	0	0	0	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	高規格救急自動車更新整備	目標	台			1	0	0
		実績	台	0	1			
		達成率	%		100			
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点		評価	理由				
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。		妥当	広域組合が(消防)が運用している車両である				
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。		高い	機能低下による活動障害をきたさないために、更新基準等に基づく整備は有効である。				
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。		高い	整備に当たっては計画に基づき適正な経費となっている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 次期救急車両の更新に向けて継続事業					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 次期救急車更新に向けての予算確保			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	31年度以降、救急自動車更新向け事業は維持継続							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		救急活動業務		グループ・担当名	消防署グループ 救急担当	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	05 救命に関する技術や知識の普及			目	01 美幌消防署費
	施策(小)	01 普通救命講習およびAED講習会の推進			大事業	04 救急業務経費
事業期間	終期未定		平成28年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	救急活動、応急手当普及の業務					
事業目的	円滑な救急活動の実施					
事業の対象	消防職員及び町民					
実施結果	【実施結果】 救急活動で使用する資機材の購入及び整備、応急手当の実施					
現状と課題	【現状と課題】 充実した応急手当講習を開催し、更なる救命率の向上を図りたい。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	1,864	1,871	1,773	1,753	2,167	2,167
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	1,864	1,871	1,773	1,753	2,167	2,167
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	1,864	1,871	1,773	1,753	2,167	2,167

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	応急手当講習の実施	目標	人			300	300	300
		実績	人	232	343	356		
		達成率	%		114.33	118.67		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	広域組合（消防）が主体で行わなければならない事業である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	応急手当講習の目標が達成され有効な事業である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 充実した応急手当講習が開催されているか検証する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 検証結果を踏まえて、適切な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	訓練用資機材の充実を図る。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		北海道消防操法訓練大会参加事業		グループ・担当名	消防署グループ消防担当	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	03 消防団の充実			目	02 美幌消防団費
	施策(小)	01 消防団員の確保			大事業	02 北海道消防操法訓練大会
事業期間	2年度		平成29年度～平成30年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	北海道及び北海道消防協会主催の消防操法訓練大会に、オホーツク支部を代表して出場することで、消防団員の士気高揚を図る。					
事業目的	出場団員の養成及び資質の向上を図り、全消防団員の団結心及び士気の高揚を図る。					
事業の対象	消防団					
実施結果	【実施結果】 報酬及び費用弁償経費の管理、出場団員の養成、訓練の実施					
現状と課題	【現状と課題】 訓練の長期化による団員の怪我及び訓練意欲の低下が懸念される					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	1,570	0	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	0	0	1,570	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	0	1,570	0	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	北海道消防操法訓練大会参加	目標	人			10	10	
		実績	人			10		
		達成率	%			100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	北海道及び北海道消防協会主催の消防操法訓練大会にオホーツク支部を代表して出場するため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	全団員協力し団結心を生み、優勝を目標とし意欲的に訓練を行い消防技術向上が図られ、全団員士気の高揚が図られた。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	全団員の一大イベントで、大会に挑む全団員の意識の高揚並びに選手の消防技術の向上は進歩し費用対効果は適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 次年度は北海道消防操法訓練大会に出場し、優勝という目標を達成するため、更なる訓練を行い事業の拡充が必要です。					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 次年度は北海道消防操法訓練大会に出場するため、大会参加費用等事業の拡充が必要です。			予算反映額 (概算)	3,137千円		拡充
今後の改善点	訓練している消防ポンプ車は20年前の車両なため、今後車両の更新時にはポンプ車操法にも適した車両の更新が必要と思われる。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		車両等資機材維持管理事業		グループ・担当名	消防署グループ警防担当	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	01 常備消防体制の充実			目	01 美幌消防署費
	施策(小)	01 消防車両・救助資機材の更新整備			大事業	05 車両等資機材経費
事業期間	終期未定		平成28年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	迅速・安全な災害活動を行うため、消防車両及び資機材等の維持管理は重要であり、破損による修繕状況・経年劣化を考慮し、計画的に更新整備を図る。					
事業目的	迅速・安全な災害活動の遂行					
事業の対象	消防車両及び資機材等					
実施結果	【実施結果】 車両及び資機材等の維持管理					
現状と課題	【現状と課題】 消防力の維持のため、今後も継続して整備管理を図る必要がある。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	7,644	6,519	7,228	9,558	6,627	6,627
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	7,644	6,519	7,228	9,558	6,627	6,627
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	7,644	6,519	7,228	9,558	6,627	6,627

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	車両点検整備・資機材等の更新整備	目標	台		15	15	15	16
		実績	台	15	15	15		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	広域組合(消防)が行わなければならない事業である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	目標が達成され、車両や資機材の維持・管理がされている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	適正であるが、経年劣化した車両が多いため維持管理が課題である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 災害現場で活用する車両や資機材等の維持管理を徹底する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 消防力を維持するための予算措置。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	車両にあっては経年劣化に伴う修繕が増加している。 資機材にあっては計画的に更新・整備する必要がある。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		救助資機材更新整備事業		グループ・担当名	消防署グループ警防担当	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	01 常備消防体制の充実			目	01 美幌消防署費
	施策(小)	01 消防車両・救助資機材の更新整備			大事業	05 車両等資機材経費
事業期間	終期未定		平成28年度～令和7年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	災害発生時において情報収集等に有効な無人小型機の整備及び、安全・的確な救助活動を行うため、車載資機材等の破損による修繕状況・経年劣化を考慮し、計画的に更新整備を図る。					
事業目的	安全・確実な災害活動の遂行					
事業の対象	人命救助や延焼防止等に必要不可欠な消防車両積載器材					
実施結果	【実施結果】 救助資機材等の更新維持管理					
現状と課題	【現状と課題】 車載資機材等の破損による修繕状況・経年劣化を考慮し計画的に更新整備を図る必要がある。					
事業進捗度	-	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	0	0	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	0	0	0	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	救助資機材の維持管理	目標				100		
		実績				100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	広域組合(消防)が行わなければならない事業である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	目標が達成され、安全・的確な救助活動が行われている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 救助活動現場で活用する資機材の維持管理を徹底する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 救助活動を維持するための予算措置。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		消防ポンプ自動車等整備事業		グループ・担当名	消防署グループ警防担当	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	01 常備消防体制の充実			目	03 美幌消防施設費
	施策(小)	01 消防車両・救助資機材の更新整備			大事業	02 施設整備事業費
事業期間	終期未定		平成28年度～令和7年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	火災をはじめ各消防活動を的確に行うため、その目的に合わせた消防車両を保有している。使用年数及び老朽化による機能低下を判断基準に車両の更新計画を策定しており、機械的な不備によって消防活動に支障をきたさないよう更新整備を図る。					
事業目的	老朽した消防自動車等の更新整備					
事業の対象	消防自動車等					
実施結果	【実施結果】 緊急防災・減災事業債等の財源を活用する					
現状と課題	【現状と課題】 使用年数及び老朽化による機能低下を判断基準に車両の更新整備を策定しているが、計画通りに更新出来ていないため機械的な不備によって消防活動に支障をきたさないよう車両の更新整備を図る。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	0	0	1,750
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	0	0	0	0	1,750
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	0	0	0	0	0	1,750

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	消防車等の更新整備	目標	台			15	15	15
		実績	台			15		
		達成率	%			100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	広域組合（消防）で運用している車両である					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	機械的な不備によって消防活動に支障をきたさないよう更新整備が必要であり有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	更新計画に基づく整備を行っており適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 大型水槽車更新に向けて事業の継続					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 適正な予算措置			予算反映額 (概算)	0千円		拡充
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		美幌消防署事務		グループ・担当名	消防署グループ警防担当	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	01 常備消防体制の充実			目	01 美幌消防署費
	施策(小)	02 災害活動用職員貸与品の更新			大事業	02 消防業務経費
事業期間	終期未定		平成28年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	災害時の消防隊進入困難箇所での初動活動、情報収集、捜索・救助活動の機動力をアップし、人命救助をスムーズに行うため整備を図る。					
事業目的	災害活動の円滑な遂行					
事業の対象	消防職員					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 美幌消防署の運営に関する業務を円滑に実施 【現状と課題】 業務を円滑に行うために、今後も適正な執行管理を行う。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	10,702	12,328	12,133	12,003	12,138	12,138
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	8	-
一般財源	10,702	12,328	12,133	12,003	12,130	12,138
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	10,702	12,328	12,133	12,003	12,138	12,138

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	適正な執行管理を行う。	目標	%			100	100	100
		実績	%	97.9	98.1	98.3		
		達成率	%		98.1	98.3		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					

項目	評価の視点	評価	理由
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	消防業務を運営するため妥当である。
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	美幌消防署業務の円滑な運営をするために適切である。
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	美幌消防署の運営に関する業務を行うために適正である。

次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 適正な執行管理を行う。		評価結果
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 検証結果を踏まえて、適正な予算措置を行う。	予算反映額 (概算) 0千円	
今後の改善点				

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		庁舎維持管理事業		グループ・担当名	美幌消防署グループ警防担当	
				評価者名	広域事務組合事務局長 中村 敏文	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	04 消防費
	施策(大)	08 消防・救急体制の強化			項	04 美幌消防費
	施策(中)	06 消防施設の整備			目	01 美幌消防署費
	施策(小)	01 消防庁舎耐震化の推進			大事業	06 庁舎管理等経費
事業期間	4年度		平成29年度～令和2年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	消防庁舎の適正な維持管理					
事業目的	災害拠点となる消防庁舎の維持管理を行い災害に備える					
事業の対象	消防庁舎					
実施結果	【実施結果】 消防庁舎の維持管理					
現状と課題	【現状と課題】 庁舎の老朽化に伴う修繕が増加傾向にある。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	5,030	5,085	5,190	5,583	5,950	5,950
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	5,030	5,085	5,190	5,583	5,950	5,950
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	5,030	5,085	5,190	5,583	5,950	5,950

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	消防庁舎の維持管理・委託管理	目標	%			100	100	100
		実績	%	94.7	89.4	93.5		
		達成率	%		89.4	93.5		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	広域組合(消防)庁舎であるため					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	常時職員が勤務しているため、必要不可欠である					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	常時職員が勤務しており、適正な職場環境を維持するため					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 常時職員が勤務しているため、職場の環境整備を行っていく。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 職場環境を維持していくための予算措置			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	庁舎の老朽化に伴う修繕が増加傾向にある。							